



専務取締役  
小島 良之 氏

## 構造物は低めに、緑で立体感を表現したオープンスタイル

今回のエクステリア施工コンテストのプレゼンテーション部門で優秀賞を受賞したF様邸は、わが社が力を入れているオープンスタイルのエクステリアの好例です。

プランニング当初は、施主様がオープンとクローズのどちらにするかを決めかねていたため、両方の図面を作成。そして、次にパースを提示した段階で、オープンスタイルのデザインの面白さを気に入っていただき、そちらに決定となった経緯があります。

そのデザインの特徴は、まず、圧迫感を感じさせないように構造物をなるべく低くしたこと。階段や門柱、鋳物門扉タンゾーンなどを取り入れながら、それらの高さを低めに設定し、さらに斜めに振ることによって、リズムカルで開放的なエクステリアを表現しました。そして、門の右側に設けた花壇には、ヤマボウシ、シャラ、シャクナゲなどの庭木を配置。低めの構造物と対称的に緑で立体的な変化をつけることによって、より植栽を目立たせるという意図があります。

このようなオープンスタイルに限らず、わが社ではさまざまなエクステリア空間において、植栽のアイデアをアビー



ルすることを心がけています。また、植栽を引き立てる空間づくりにも留意し、植物と調和するレンガや木材、自然石などの自然素材を効果的に使用したエクステリアを提案しています。最近手がけたM様邸では、枕木の支柱に粗めのアイアンメッシュを取り付けたオリジナルのフェンスを取り入れましたが、そのようなわが社独自のデザインにこだわったエクステリアも好評を得ています。

### —— 営業の考え方 ——

土地が限られている場合、施主様は車庫や門まわりだけの外構を望まれることが少なくありませんが、ワンポイントでも草花を植えるスペースをつくって彩りを添えることを提案しています。逆に、土地に余裕がある場合も、ガーデニングのスペースをあまり広くとってしまうと、施主様のプレッシャーになることがあるので、どのくらい手をかけられるかをよく確認するようにしています。

今後も、お客様の立場に立ったプランニングを強化し、要望をいちばんいいカタチで実現する魅力的なエクステリアを提供していきたいと考えています。

